

水稻の育苗箱処理

にも 使えます!!

ネオニコチノイド系 殺虫剤

ダントツ[®] 粒剤



高密度は種に
対応

使用時期
移植3日前から
移植当日まで



イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ

各種害虫に
長〜い残効!



野菜、花
などにも使えます

水稻の本田散布では収穫7日前まで使えます。

水稻の育苗箱処理に!

ネオニコチノイド系 殺虫剤 ダントツ® 粒剤

ダントツは住友化学(株)の登録商標です。

有効成分:クロチアジニン…0.50%

特長

- ① 水稻の育苗箱処理に使える!
- ② 本田散布にも高い効果!

育苗箱に処理するだけで、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、イネヒメハモグリバエに高い効果。移植3日前から移植当日まで使えます。斑点米の原因となるカメムシ類のほか、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウにも良く効きます。収穫7日前まで使えます。

適用と使用方法

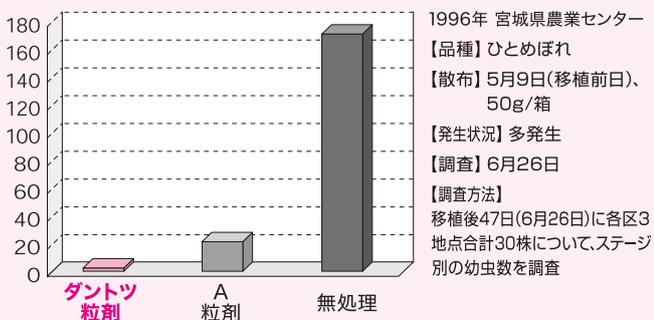
2021年11月現在の登録内容(太字は2021年10月27日適用拡大)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアジニンを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり50g	移植3日前～ 移植当日	1回	育苗箱の苗の 上から 均一に散布	4回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布、 空中散布、無人航空機散布は 合計3回以内)
		高密度には種する 場合は1kg/10a 【育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり50～100g】				
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ	3kg/10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (直播では種時又は 移植時までの処理は1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回以内)
	カメムシ類	3～4kg/10a				

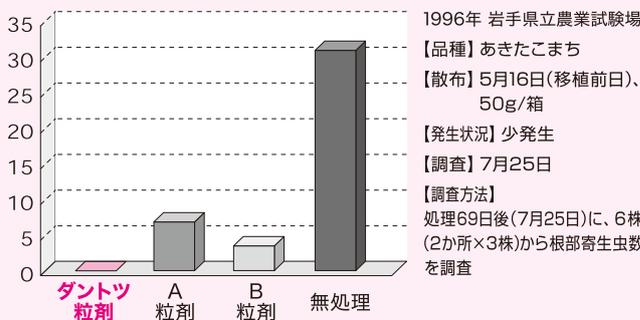
*ダントツ粒剤は、他作物にも登録があります。詳細はラベルでご確認ください。

試験成績

イネドロオウムシ 中齢+老齢幼虫数(10株当り)



イネミズゾウムシ 根部寄生幼虫数(6株当り)



使用上の注意(抜粋)

- 稲(箱育苗)に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、そのまま田植機にかけて移植してください。
 - ② 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当たり乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
 - ③ 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などは薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
 - ④ 誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。
 - ⑤ 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに灌水し、水深2～3cm程度を保ち浅水はさけてください。
- 水稻の本田に使用する場合は、3cm前後の湛水とし、田面に均一に散布し散布後4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ② 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチを利用する場合、本剤使用後20日目頃より後に導入してください。但し、影響日数は環境条件により多少変動する場合がありますので注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
 - 散布後は水管理に注意してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ① 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布にあたっては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 事前に本剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ④ 本剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該圃場周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整してください。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- ラベルに記載の注意事項もご覧ください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R11K21D81:ZS

2021年11月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

